

被災者支援募金の訴え

東 日 本 大 震 災

神戸医療生活協同組合震災対策本部

3月11日の震災から2カ月が経過しようとしています。被害の状況は明らかになりつつありますが、5月6日時点でも依然として行方不明者が1万人を超えており、津波被害・原発事故等、様々な困難な状況の中で被災者の生活再建・復興はまだまだ緒についたばかりです。

神戸医療生協でのこの間の取り組みは・・・

＜現地支援活動＞3月12日から5月6日の間、40名（延べ246日）が現地へ医療支援や生活支援へ派遣する事が出来ています。

医師	保健・看護師	技術	事務系	合計
5名	13名	7名	15名	40名

＜義援金＞4月29日現在で、394万1,892円です（クエイト含む）

＜支援行動＞板宿クリニックでの街頭募金活動や「支援カレー」の取り組み。地域でも支援バザーの取り組み等様々な形で、多くの職員・組合員が被災者支援行動に取り組んでいます。

2か月を一つの節目とし、4月末で集まった義援金は、全日本民医連を始め、医師会や看護協会等へ送る予定です。又支援に参加した職員と共に2か月のまとめとこれからの支援の在り方についても検討をします。

5月2日に行った支援行動は現地の被災者の皆さんには大変喜ばれた行動になりました。「こうした支援行動はまだ必要」と感じて帰ってきた職員も多く、私たちは引き続きこうした支援行動出来る限り続けて行きたいと考えています。

同時に、こうした支援活動には大きな経済的負担がかかります。今回連休の支援行動では、一人当たりで約4万円以上の費用が必要でした。

今後、継続的な支援行動をする上でも、現地への支障が無いよう、「自己完結」（宿泊や食事）型の支援活動出来るためにも、改めて「東日本大震災被災者支援募金」を呼びかけます。

職場や地域で、バザーや募金活動等創意工夫で取り組みながら、月に1回は現地支援行動出来るよう、多くの皆さんへ呼びかけるものです。

又、支援募金用の口座も開設致しましたので、併せてご案内いたします。

＜募金専用口座＞

三井住友銀行 長田支店 普通 7632670

口座名：神戸医療生活協同組合

